

＼高齢者インフルエンザ予防接種／ 接種の前に 必ずお読みください



予診票は、接種を受ける人が責任をもって記入しましょう。

気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に医師によく相談して、十分に納得したうえで接種を受けるようにしてください。※本人の自署ができない場合は裏面のその他参照

副反応

予防接種した部位が赤みを帯びたり、腫れや痛みが出たりすることがあります。また、発熱、寒気、頭痛、全身のだるさなどがみられることもありますが、いずれも通常2～3日のうちに治ります。

極めてまれに、ショックやアナフィラキシーがあらわれることがあります。

そのほか、重い副反応の報告がまれにあります。高熱・接種箇所のひどい腫れや激しい痛み・繰り返す嘔吐・じんましんなどが現れたら、医師の診察を受けてください。極めてまれですが、脳炎や神経症状などの健康被害が生じる場合もあります。

有効性



ウイルスに感染すると、数日の潜伏期間を経て、インフルエンザを発病します。インフルエンザワクチンには、この「発病」を予防することや、発病後の「重症化」を予防する効果があります。国内の研究によれば、65歳以上の高齢者については34～55%の発病を阻止し、82%の死亡を阻止する効果があったとされています。

アナフィラキシーとは？

通常、接種後約30分以内に起こる、アレルギー反応のこと
例) 発汗、顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなど

予防接種を受けることができない方

- ① 明らかに発熱のある方(37.5℃以上)
- ② 重篤な急性疾患にかかっている方
- ③ 予防接種の成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがある方
- ④ インフルエンザの定期接種で、接種後2日以内に発熱のみられた方および全身性発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた方
- ⑤ その他、医師が不適当と判断した方

予防接種を受ける上で注意が必要な方

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患のある方
- ② 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ③ 過去に免疫不全の診断を受けた方および近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ④ 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患を有する方
- ⑤ 接種しようとする接種液の成分によって、アレルギーを起こす可能性がある方

予防接種後の注意

- ◆ ワクチン接種後24時間は**有害事象**の出現に注意し、観察しておく必要があります。特に接種直後の30分以内は急激な健康状態の変化に注意してください。
- ◆ 接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種当日は**過激な運動を避ける**よう注意してください。
- ◆ 接種後、**接種局所の異常反応**や**体調の変化**がある場合、速やかに医師の診察を受けてください。
- ◆ 被接種者の介護にあたる者等は、上記の場合において、被接種者が医師の診察を受けたときは、速やかに当該予防接種を行った市町村の担当部局に連絡してください。
- ◆ 予防接種当日の入浴は差し支えありません。

有害事象とは？

薬物との因果関係がはっきりしないものも含め、薬物を投与された患者に生じたあらゆる好ましくない、あるいは意図しない徴候、症状、または病気のこと

予防接種健康被害救済制度

万一、接種による健康被害が発生した場合には、保健センター健康管理課まで申請いただき、その健康被害とインフルエンザ予防接種との間に因果関係があると国に認定されると、医療費等が給付されることがあります。

その他

- ◆ 認知症などで明確な意思の確認が困難な場合には、**ご家族、施設職員、医療機関の方**などによって特に慎重に本人の接種意思の有無を確認し、接種適応を決定する必要があります。最終的に意思確認ができない場合には、予防接種法に基づく接種はできません。
- ◆ 本人の自署が難しい場合は、**ご家族、施設職員、医療機関の方**など、本人の意思を確認できる方が代筆し、代筆者の名前、被接種者との関係性を併せてご記入ください。



所沢市ホームページ



厚労省ホームページ